

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 2 区分
 【発行日】平成 29 年 3 月 23 日 (2017.3.23)

【公表番号】特表 2016-515940 (P2016-515940A)
 【公表日】平成 28 年 6 月 2 日 (2016.6.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-034
 【出願番号】特願 2016-500319 (P2016-500319)
 【国際特許分類】

B 2 3 K 9/10 (2006.01)

【F I】

B 2 3 K 9/10 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 29 年 2 月 20 日 (2017.2.20)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 9
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 2 9】

本明細書において、本発明の或る特定の特徴だけが図示及び説明されてきたが、当業者には多くの変更及び変形が思い浮かぶであろう。それゆえ、添付の特許請求の範囲は、本発明の真の趣旨に入る全ての変更及び変形を包含することを意図していることは理解されたい。

なお、本発明は以下の特徴を以って実施することができる。

〔特徴 1〕

電圧検知ワイヤ送給装置であって、
 ストレージデバイスと、

第 1 の選択及び第 2 の選択を受信するように構成されたユーザーインターフェースと、
 を備え、前記第 1 の選択は、前記ストレージデバイスに記憶された第 1 の設定グループを用いるように該電圧検知ワイヤ送給装置に指示するように構成され、前記第 2 の選択は、前記ストレージデバイスに記憶された第 2 の設定グループを用いるように該電圧検知ワイヤ送給装置に指示するように構成されている電圧検知ワイヤ送給装置。

〔特徴 2〕

前記第 1 の設定グループを用いることは、前記電圧検知ワイヤ送給装置が、該電圧検知ワイヤ送給装置の外部にある溶接デバイスと通信することを含む特徴 1 に記載の電圧検知ワイヤ送給装置。

〔特徴 3〕

前記第 2 の設定グループを用いることは、前記電圧検知ワイヤ送給装置が、前記溶接デバイスと通信することを含む特徴 2 に記載の電圧検知ワイヤ送給装置。

〔特徴 4〕

前記溶接デバイスは溶接電源装置を備える特徴 2 に記載の電圧検知ワイヤ送給装置。

〔特徴 5〕

前記電圧検知ワイヤ送給装置は、溶接ケーブルを介して前記溶接デバイスと通信するように構成されている特徴 2 に記載の電圧検知ワイヤ送給装置。

〔特徴 6〕

前記電圧検知ワイヤ送給装置は、無線インターフェースを使用して前記溶接デバイスと通信するように構成されている特徴 2 に記載の電圧検知ワイヤ送給装置。

〔特徴 7〕

前記電圧検知ワイヤ送給装置は、ネットワークインターフェースを使用して前記溶接デバイスと通信するように構成されている特徴 2 に記載の電圧検知ワイヤ送給装置。

[特徴 8]

前記電圧検知ワイヤ送給装置は、ガスインターフェースを使用して前記溶接デバイスと通信するように構成されている特徴 2 に記載の電圧検知ワイヤ送給装置。

[特徴 9]

溶接電力及びデータを組み合わせたものを溶接電源装置から受信するとともに、溶接電力及びデータを組み合わせたものを前記溶接電源装置に提供するように構成された制御回路部を備え、前記溶接電力及びデータを組み合わせたものは、前記第 1 の設定グループ、前記第 2 の設定グループ、又はそれらの或る組み合わせを用いるための前記電圧検知ワイヤ送給装置と前記溶接電源装置との間の通信を可能にする特徴 1 に記載の電圧検知ワイヤ送給装置。

[特徴 10]

溶接電源装置からの無線通信を受信するとともに、溶接電源装置に無線通信を提供するように構成された制御回路部を備え、前記無線通信は、前記第 1 の設定グループ、前記第 2 の設定グループ、又はそれらの或る組み合わせを用いるための前記電圧検知ワイヤ送給装置と前記溶接電源装置との間の通信を可能にする特徴 1 に記載の電圧検知ワイヤ送給装置。

[特徴 11]

前記ユーザーインターフェースは、前記第 1 の選択、前記第 2 の選択、又はそれらの或る組み合わせを受信するように構成された入力デバイスを備える特徴 1 に記載の電圧検知ワイヤ送給装置。

[特徴 12]

前記第 1 の設定グループ、前記第 2 の設定グループ、又はそれらの或る組み合わせは、電源装置電圧設定、電源装置電流設定、電源装置タイプ設定、電源装置構成設定、システム構成設定、アーク制御設定、溶接プロセス設定、溶接シーケンス、又はそれらの或る組み合わせを含む特徴 1 に記載の電圧検知ワイヤ送給装置。

[特徴 13]

前記第 1 の設定グループ、前記第 2 の設定グループ、又はそれらの或る組み合わせを用いることは、前記電圧検知ワイヤ送給装置と溶接電源装置との間の通信に依存する特徴 1 に記載の電圧検知ワイヤ送給装置。

[特徴 14]

電圧検知ワイヤ送給装置において、該電圧検知ワイヤ送給装置のストレージデバイスに記憶された複数の設定グループからの一設定グループの選択を受信することと、

前記選択された設定グループを用いて溶接用途を制御することと、

溶接電源装置と前記電圧検知ワイヤ送給装置との間で通信することであって、前記溶接用途の制御を調整することを含む方法。

[特徴 15]

前記溶接電源装置と前記電圧検知ワイヤ送給装置との間で通信することは、前記電圧検知ワイヤ送給装置と前記溶接電源装置との間で電氣的に結合された溶接ケーブルを介してデータを溶接電力とともに提供することを含む特徴 14 に記載の方法。

[特徴 16]

前記溶接電源装置と前記電圧検知ワイヤ送給装置との間で通信することは、データを前記溶接電源装置に無線で提供することを含む特徴 14 に記載の方法。

[特徴 17]

前記設定グループは、電源装置電圧設定、電源装置電流設定、電源装置タイプ設定、電源装置構成設定、システム構成設定、アーク制御設定、溶接プロセス設定、溶接シーケンス、又はそれらの或る組み合わせを含む特徴 14 に記載の方法。

[特徴 18]

溶接システムであって、

溶接用途のための溶接電力を提供するように構成された溶接電源装置と、
溶接ケーブルと、
電圧検知ワイヤ送給装置のストレージデバイスに記憶された複数の設定グループを含む
該電圧検知ワイヤ送給装置と、
を備え、前記電圧検知ワイヤ送給装置は、前記溶接電源装置から前記溶接ケーブルを介し
て前記溶接電力を受信するとともに、前記溶接ケーブルを介して前記溶接電源装置と通信
するように構成され、前記設定グループのそれぞれは、前記電圧検知ワイヤ送給装置と前
記溶接電源装置との間の通信に少なくとも部分的に依存する、溶接システム。

[特徴 1 9]

前記複数の設定グループのうちの少なくとも 1 つは、電源装置電圧設定、電源装置電流
設定、電源装置タイプ設定、電源装置構成設定、システム構成設定、アーク制御設定、溶
接プロセス設定、溶接シーケンス、又はそれらの或る組み合わせを含む特徴 1 8 に記載の
溶接システム。

[特徴 2 0]

前記電圧検知ワイヤ送給装置は、複数の選択可能な入力を備え、該複数の選択可能な入
力のうちのそれぞれの選択可能な入力は、前記複数の設定グループのうちのそれぞれの設
定グループに対応する特徴 1 8 に記載の溶接システム。

【 手続補正 2 】

【 補正対象書類名 】 特許請求の範囲

【 補正対象項目名 】 全文

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 特許請求の範囲 】

【 請求項 1 】

電圧検知ワイヤ送給装置において、
ストレージデバイスと、
第 1 の選択及び第 2 の選択を受信するように構成されたユーザーインターフェースとを
具備し、

前記第 1 の選択は、前記ストレージデバイスに記憶された第 1 の設定グループを用いる
ように該電圧検知ワイヤ送給装置に指示するように構成され、前記第 2 の選択は、前記ス
トレージデバイスに記憶された第 2 の設定グループを用いるように該電圧検知ワイヤ送給
装置に指示するように構成されている電圧検知ワイヤ送給装置。

【 請求項 2 】

電圧検知ワイヤ送給装置のストレージデバイスに記憶された複数の設定グループから一
つの設定グループの選択を前記電圧検知ワイヤ送給装置において受信することと、
前記選択された設定グループを用いて溶接用途を制御することと、
溶接電源装置と前記電圧検知ワイヤ送給装置との間で通信して、前記溶接用途の制御を
調整することを含む方法。

【 請求項 3 】

溶接システムであって、
溶接用途のための溶接電力を提供するように構成された溶接電源装置と、
溶接ケーブルと、
電圧検知ワイヤ送給装置のストレージデバイスに記憶された複数の設定グループを含む
該電圧検知ワイヤ送給装置とを具備し、
前記電圧検知ワイヤ送給装置は、前記溶接電源装置から前記溶接ケーブルを介して前記
溶接電力を受信するとともに、前記溶接ケーブルを介して前記溶接電源装置と通信するよ
うに構成され、前記設定グループのそれぞれは、前記電圧検知ワイヤ送給装置と前記溶接
電源装置との間の通信に少なくとも部分的に依存する溶接システム。